

## 第69回全日本勤労者弓道選手権大会 石川県代表選考会

R4.4.2 (土) 於：石川県立武道館弓道場

4月2日午後から開会式が行われた。水橋石川県弓道連盟会長より、石川県の名前をどんどん上げて良い成績を出していただきたい、そのための石川県予選会ということで、期待を込めて拝見したいと激励の言葉をいただき開会式が終了。すぐに競技が開始された。出場チームは6チーム、競技方法は1チーム3名、近的競技、的中制（射距離28m、36cm 霰的使用）総的中数より上位2チームを県代表に選出する。



1回戦では、北國FDHが8中、昨年悲願の代表権獲得も本大会の中止により涙をのんだ金沢村田製作所Aが7中で続いた。冷たい風の影響か、久々の緊張感の影響か思いの外、的中数が伸びない。

続く2回戦、金沢村田製作所Aが8中、合計15中で一步抜け出す。1回戦トップの北國FDHが的中を伸ばせずに2中、計10中となり、代表権争いが混沌としてきた。最終立ちの津田駒工業B、金沢村田製作所Bが共に6中で合計10中となり、金沢村田製作所Aが二年連続で出場権を確定した。もう一つの代表権争いは、10中の3チームによる代表決定戦の末、津田駒工業Bが出場権を獲得した。



閉会式、水橋会長からは、県の代表としてさらなる稽古を積んで臨んでほしい。今日好調でも明日はわからないというのが弓道の面白さでもあり、1本の違いを研究して稽古して欲しい。弓道の本当の楽しさは矢数をつけるのではなく、この1本は必ず中るというのを掴むことである。そのためには早気では中らないということがわかってきます。八節、十文字、手の内ができていくかどうか、そういうものが弓と矢、弾など、あらゆる道具が自分の味方してくれるようになってきます。これからシーズンが始まり、いろんな大会が行われますので、それに向かって頑張ってくださいと講評をいただき閉会となった。

## 参加チーム紹介



津田駒工業 A



金沢村田製作所 A



北國 FHD



石川県庁



津田駒工業 B



金沢村田製作所 B

## 成績

順位	チーム名	的中数
1位	金沢村田製作所 A (足立・前多・菊知)	15中
2位	津田駒工業 B (角・咲川・牧野)	10中
3位	北國 F D H (園・米谷・佐々木)	10中
4位	金沢村田製作所 B (前川・中村)	10中
5位	津田駒工業 A (奥平・岸田・柘田)	9中
6位	石川県庁 (高山・坂室・後藤)	6中

「第 69 回全日本勤労者弓道選手権大会」に石川県代表として下記の 2 チームが出場。

令和 4 年 6 月 11 日～12 日に全日本弓道連盟中央道場（東京）で開催



後列左より：角・咲川・牧野（津田駒工業 B チーム）

前列左より：菊知・前多・足立（金沢村田製作所 A チーム）

**代表チーム紹介** ①本日の結果を振りかえって ②本大会へ向けての目標や課題

### ★株式会社 金沢村田製作所★

全日本勤労者大会の本戦には、金沢村田弓道部としては、創部 14 年目の祈願の初出場となります。参加させていただくからには、本大会までの残り 2 か月を、めいっぱい精進し、大会当日は、参加メンバー一人一人が実力を発揮し、良い結果を持ち帰られるよう、頑張ってきます。

- ① 予選会当日は、本大会初出場を目指して意識しすぎた為に、本来の弓を引くことが出来ていなかったと反省しています。その中で、幸運にも、本戦への出場権を獲得することが出来て、光栄であり、嬉しく思っております。
- ② まずは初日の予選通過を目指し、決勝トーナメントでは、一本でも多く、中央道場で、弓を引けるよう頑張ってきて来ます。

### ★津田駒工業株式会社★

- ① 予選会直前にチームにアクシデントがあり、個々の選手にも、特にメンタル面で影響があったと思います。予選会の成績もその影響があり、県代表としては十分な中ではありませんでしたが、他チームの調子もあまり良くなく、なんとか本大会への切符をいただきました。ありがとうございました。
- ② 残り 2 か月でチームを立て直してまずは、予選突破、あとは、1 戦毎、1 本に集中して大会に臨みたいと思います。